

<評価表> ※評価機関・ホーム共用

ホーム名	神戸〈ゆうゆうの里〉	開設日	S58.9.1
------	------------	-----	---------

評価シートNo. 1

評価機関	株式会社川原経営総合センター	評価受審日	H27.1.19
------	----------------	-------	----------

No.	項目名	自己評価	機関評価
1 運営主体の姿勢	1.1.1 経営姿勢の周知	A	A
	1.1.2 経営における社会的責任	A	A
	1.1.3 コンプライアンスへの取り組み	A	A
	1.1.4 法人の事業計画策定	A	A
	1.2.1 財務状況の改善・向上	A	A
	1.2.2 資金管理	A	A
	1.3.1 事業関連情報の共有	A	A
	1.3.2 個人情報保護義務	A	A
	1.3.3 個人情報の管理	A	A
	1.4.1 職員の育成	A	A
	1.4.2 職員の評価・報酬	A	A
	1.4.3 人事考課	A	A
	1.4.4 職員のモチベーション維持	A	A
	1.4.5 職員の就業状況への配慮	A	A
	1.4.6 中間管理職の役割	A	A
	1.4.7 資格取得への支援	A	A
	1.4.8 入居募集に係る職員への指導	A	A
	1.5.1 入居者の権利擁護	A	A
1.5.2 権利擁護に係る外部との連携	A	A	
1.5.3 虐待防止への組織的対応	A	A	
2 ホームの運営方針	2.1.1 運営理念の周知	A	A
	2.1.2 ホームの事業計画の策定・評価	A	A
	2.2.1 見学受け入れの姿勢	A	A
	2.2.2 体験入居への取り組み	A	A
	2.2.3 入居条件の緩和	A	A
	2.2.4 募集関係書類内容の整合性	A	A
	2.2.5 契約関係書類の開示時期	A	A
	2.2.6 特定施設利用契約の説明時期	A	A
	2.2.7 利用料改定方法	A	A
	2.2.8 契約解除に係る入居者保護	A	A
	2.2.9※ 保全措置	A	A
	2.2.10 短期解約特例	A	A
	2.2.11 原状回復取扱規程	A	A
	2.3.1※ 要介護者等への職員配置	A	A
	2.3.2 夜間の職員配置	B	B
	2.3.3 サービスの質向上への取り組み	A	A
	2.3.4 ニーズの把握	A	A
	2.3.5 運営懇談会の開催	A	A
	2.3.6 ホーム運営状況の報告方法	A	A
	2.3.7※ 介護保険会計との区分	A	A
	2.3.8 ホーム以外の事業会計との区分	A	A
	2.3.9 社内の苦情処理体制	A	A
	2.3.10 社外の苦情処理体制	A	A
	2.3.11 損害賠償	A	A
	2.4.1 金品授受の取扱い	A	A
	2.4.2 業務マニュアルの策定・見直し	A	A
	2.4.3 事故防止への取り組み	A	A
	2.4.4 感染症予防の取り組み	A	A
2.4.5 災害対策マニュアルの整備	A	A	
2.4.6 防災訓練の実施	A	A	
3 建物設	3.1.1 バリアフリー	B	B
	3.1.2 緊急通報装置	A	A
	3.1.3 安否確認の実施	A	A
	3.1.4 車いすでの移動	A	A

No.	項目名	自己評価	機関評価
備	3.1.5 相部屋でのプライバシー配慮	非	非
	3.1.6 共用施設の設置	A	A
	3.1.7 来訪者との談話スペース	A	A
4 生活サービス	4.1.1 生活相談業務	A	A
	4.1.2 小口現金の管理	A	A
	4.1.3 生活利便サービスの実施	A	A
	4.1.4 外部からの生活サービスの導入	A	A
	4.2.1 コミュニケーション	A	A
	4.2.2 アクティビティの計画的な実施	A	A
5 食事サービス	5.1.1 バリエーション	A	A
	5.1.2 入居者のニーズの反映	A	A
	5.2.1 摂食支援	A	A
	5.2.2 疾病に対応した食事の提供	A	A
	5.2.3 適温での提供	A	A
6 ケアマネジメント	5.2.4 個別の食事管理	A	A
	5.2.5 口腔ケアへの取り組み	A	A
	6.1.1※ 介護の提供方針	A	A
	6.1.2 接遇上の配慮	A	A
	6.1.3 介護保険の制度説明	A	A
	6.2.1※ ケアマネジメントの実施	A	A
	6.2.2※ 個別アセスメントの実施	A	A
	6.2.3※ ケアプランの作成	A	A
	6.2.4※ 暫定ケアプランの作成	A	A
	6.2.5※ ケアプランの見直し	A	A
	6.2.6※ ケース会議等の開催	A	A
6.2.7 ケース会議等の個人情報利用	A	A	
6.2.8 家族等との連携	A	A	
6.2.9 身体拘束廃止への取り組み	A	A	
6.3.1※ 職員の技術向上	A	A	
6.3.2 職員の認知症介護技術向上	A	A	
6.3.3 サービス評価の実施	A	A	
7 ケアサービス	7.1.1 健康管理	A	A
	7.1.2 緊急通報装置への対応	A	A
	7.2.1 閉じこもりの予防	A	A
	7.3.1※ 個別ケア(入浴)の実施	A	A
	7.3.2※ 入浴介助時のプライバシー配慮	A	A
	7.3.3 入浴環境の整備	A	A
	7.3.4※ 入浴介助中の事故防止対策	A	A
	7.4.1※ 個別ケア(排泄)の実施	A	A
	7.4.2※ 排泄介助時のプライバシー配慮	A	A
	7.4.3※ おむつ交換の実施	A	A
	7.4.4※ 臭気への配慮	A	A
	7.4.5 排泄介護用品の選定	A	A
	7.5.1※ 褥創予防	A	A
	7.5.2※ 寝・食分離への取り組み	A	A
	7.5.3 福祉用具の選定	A	A
7.5.4※ 館外での介助	A	A	
7.5.5※ 機能訓練の実施	A	A	
7.5.6 居住環境の整備	A	A	
7.5.7 他の入居者との関わりの支援	A	A	
7.6.1 医療機関との協力	A	A	
7.6.2 家族との医療面での連携	A	A	
7.6.3 服薬管理の実施	A	A	

注意. 上記のスケールNo.に【※】印が付されている項目は、ホームの事業内容によって【非該当】との選択肢がありうるものである。(詳細は、評価プログラムを参照)

# ＜評価結果所見書＞

※評価機関記入

評価シートNo. 3

受審ホーム名 神戸〈ゆうゆうの里〉

評価機関名 株式会社川原経営総合センター

## 優れた取り組みと思われる点

スケールNo.	
1-2-1	毎月、予算に対する実績を各部門で出して管理しています。予算管理を行うことで、より迅速に改善が図れています。半期の振り返りでは昨年度の同時期と比較すると増収しており、結果の分析も行っています。今年度は広報活動に注力し、築30年以上を迎えた近隣の高級住宅街では広報と「YOUゆうバー」など入居者との交流の機会を持ち、バス見学会は今まで神戸駅へのお迎えでしたが、三ノ宮駅に変更したことで集客につながりました。現状を分析しながら必要な改善を実践していることで、安定した経営を展開するよう取り組んでいます。
1-4-5	毎年1回、自己申告書の提出にて職員の意向を確認しています。退職の予定、研修の希望など意向把握のほか、「仕事に対する評価」として、難しさ、仕事量、適正、能力となった、健康面、総合評価を記載する項目があり、自分自身の振り返りも行うことができる書式となっています。振り返りを通して次年度に向けて自分の意向を表明することは双方にとって客観的に現状を捉える良い機会となっています。
2-1-2	事業計画は施設方針から始まり、目標の意味（目的）も明確に記されており、目標、方策、具体策、管理項目、主担当、日程をそれぞれの部門で定めています。事業計画の振り返りは目標達成状況、課題が示されており具体的な取り組み内容が確認できます。事業計画、振り返り、ともに各部門で行ったことを取りまとめ、全職員が指事業の全体像を把握できることで、一体感を持ち取り組んでいることが推察されます。
2-3-2 7-6-1	敷地内に法人の運営する診療所が併設されており、主治医である医師と入居者の情報を共有しながら日常的な連携体制を整えています。安全衛生委員会に医師が参画しており、その他、医師と看護・介護職員が入居者の情報を共有し、ケアの方針を確認するための打ち合わせの機会を設けることもあります。ホーム内での夜間勤務体制で看護職員はオンコールでの対応となっていますが、夜間に入居者の体調の急変など緊急事態が発生した場合は、診療所の医師、看護師に対応してもらうことが可能となっています。専門的な支援を受けられるこの環境は、入居者および職員にとって大きな安心感につながっています。
2-3-3 2-3-4 3-1-6	接遇、虐待防止、コンプライアンス、事故ゼロ等など各種委員会活動は職員が主体的に取り組んでいます。法人全体でサービスの質向上に向けた取り組みとして、毎年「職員実践研究発表会」という研究発表を実施しています。当ホームでは昨年の最優秀賞「ゆうゆうかるた」に続き、今年度は「図書室魅力化計画 ハッシン」が見事大賞に選ばれています。他施設の図書室の活用状況を見学して、入居者にもっと図書室を利用していただくことを目的に研究発表で取り組んだ結果、利用率は倍増し、更に入居者がしおりを作ったり、積極的な関わりも増えました。また、毎年実施している食事サービスに関するアンケートの結果を踏まえて、大食堂のテーブル配置の変更、主菜の大盛・小盛の導入、一品料理の金券購入を通常の食事と同様に引き落としでの処理など、できることから迅速に対応しています。職員が日常の業務を深めて発信する研究発表は職員の仕事に対する一つの成果を生み出し、その結果入居者の満足度につながっていくことはモチベーションの向上につながり、入居者にとっても日常生活の充実につながるなど相乗効果のある取り組みと推察されます。法人全体で前向きに積極的にサービスの質向上に取り組んでいます。
4-2-2	麻雀、囲碁、グランドゴルフなど多種に亘るサークル活動は入居者が積極的に取り組んでおり、ホーム内の共用施設で活発に活動しています。今年度、新たにスポーツ吹き矢のサークル活動が始まり、ホーム内のサークル活動は充実を増しています。また、緑に囲まれた敷地内では、遊歩道を利用したの散歩や、農園では芋ほりの場として地域の保育園に開放し、園児との交流も定期的に図り、和やかなひと時を過ごしています。その他、月1回、開催している「Youゆう～Bar」はバイキング形式で食事を楽しみ、お酒もいただきながら、コンサートやイベントを楽しむ入居者同士の良い交流の場となっています。地域の方々に、当ホーム内で企画する行事をお誘いすることは継続していますが、更に今年度は、「ゆうゆうライフ講座」として専門家を招いての講演会も始めています。医療、AEDの使用方法、腰痛予防、終末期、死生観についてすでに開催しており、4月には僧侶を招いての講演会を予定しています。入居者が地域の中で暮らしていること、毎日の生活がゆとりある豊かな毎日であることを実感していただけるよう、趣向を凝らし取り組んでいます。

5-1-1	<p>今年度は法人内他7ホームで提供している食事の人気メニューを取り入れて提供したり、毎月、厨房スタッフが3つの新しいメニューを考え、職員による試食会で認められたものを取り入れるなど、メニューの充実を図っています。また、入居者から「昼食の量が多すぎる」との意見があがり、新たに「おにぎり定食」の提供も始まりました。お寿司の提供時もごはんの量少ないなどの要望にも応えています。できることから迅速に対応し、栄養バランスも考慮しつつ、入居者の要望を取り入れながら入居者に喜ばれる食事提供目指し、取り組んでいます。</p>
5-1-2	

**改善を要すると思われる点**

スケールNo.	
6-2-1	<p>ケアプランは入居者・家族の意向を把握した中でケアマネジャーを中心に多職種で検討を重ね作成しています。ケアプランで示している短期目標を達成すべくサービス内容についてはモニタリングを行い、入居者の現状に即したサービスを提供できるよう取り組んでいます。そのための参考となる日々の記録については、まだ改善の余地がありますが、今年度より介護ソフトを導入し、その運用が始まっています。有効な記録を積み重ねていけるよう、設定項目を検討し更なる充実を図るべく、継続して取り組むことが期待されます。</p>
6-2-2	

**その他の所見**

--